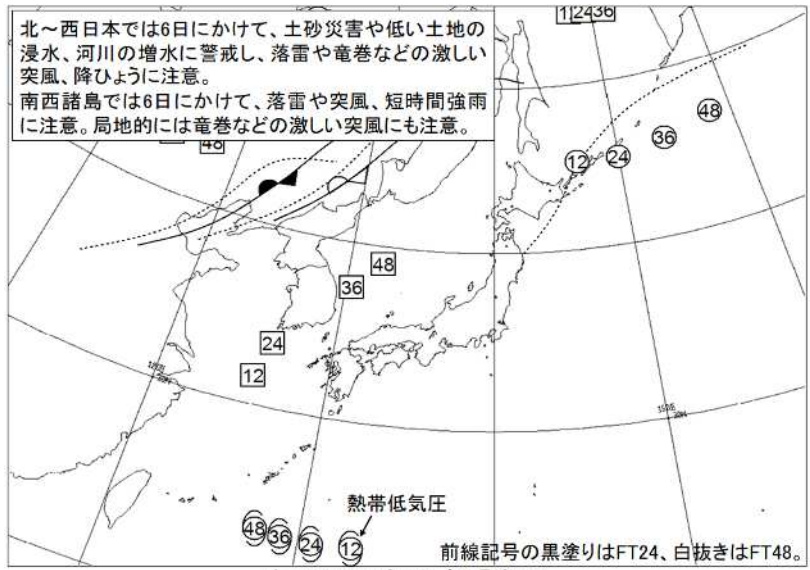


1. 実況上の着目点

- ① サハリン付近を東進する 500hPa 5820m 付近で-6℃以下の寒気を伴ったトラフに対応し、低気圧がオホーツク海を東進、前線が北日本にのびている。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、北日本では雷を検知、1時間30mm以上の激しい雨を解析。
- ② 日本の南には4日9時に熱帯低気圧が発生し、西南西に進んでいる。周辺では大気の状態が不安定となっており、日本の南～沖縄の南では雷を多数検知、1時間に30mm以上の激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

- ③ 西～東日本は東シナ海に中心を持つ背の高い高気圧に覆われている。晴れて気温が上昇し、猛暑日となっている所がある。また、高気圧縁辺を回る下層暖湿気や②の熱帯低気圧周辺からの下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、活発に発雷、1時間に60mm以上の非常に激しい雨を解析。西日本を中心に広い範囲で竜巻注意情報を発表した。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 4日は1項①のトラフと対応する低気圧が千島近海へ進む。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、北日本では4日は引き続き大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる所がある。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。
- ② 4日は東シナ海に中心を持つ高気圧が南西諸島～本州付近を覆い、5～6日は日本海に中心を持つ高気圧が北～西日本を覆う。東～西日本では晴れて気温が上昇し、広い範囲で猛暑日となる。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。
- ③ 本州付近は6日にかけて、1項②の熱帯低気圧の周辺や高気圧の縁辺を回る下層暖湿気と、2項②の日射による気温上昇、また、5～6日は、三陸沖から関東の東を南下する300hPaで-33℃以下の寒気を伴った上層寒冷渦の影響も加わるため、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨の降る所がある。東北地方～西日本では6日にかけて、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に警戒、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。
- ④ 南西諸島では6日にかけて、1項②の熱帯低気圧周辺の下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となる。落雷や突風、短時間強雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風にも注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ### 4. 防災関連事項 [量的予報等]
- ①雨量(18時からの24時間):多い所(100mm以上)はない。
 - ②波浪(明日まで):高い所(3m以上)はない。
 - ③高潮(明日まで):大潮の時期。北～西日本と南西諸島では注意報基準を超過する所があり、近畿地方では警報基準に近づく所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃に発表予定。